

1. 事業期間

2021 年 6 月 1 日～2022 年 5 月 31 日

2. 事業方針

当法人は、**地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。**

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した「くまもと次世代応援基金」では①**次世代育成事業「Appleseed 奨学金」**（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給）県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与すること②熊本の未来をに担う子どもたちを対象として「未来」に希望を持ってもらうことを目的として事業を行います。

《設立から 4 ヶ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2017年度重点取り組み【**仕組みの充実と拡充**】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み【**ネットワーク連携強化**】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

○2019年度事業の取り組み【**基金創設と必要な資源の確保**】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

○2020 年度事業の取り組み【**組織基盤強化・連携による社会課題解決支援**】

- ①地域における社会課題を把握し、必要な資源確保、ニーズに対応し現場に寄り添った助成・団体基盤強化事業の充実

②関係団体・機関等と連携して行うことで地域の課題解決に向けて連携サポート体制を構築

●熊本地震復興支援から活動を始めた財団は、2021年3月30日創立5年目を迎えました。これまでのご支援は、2021年5月31日現在の寄付（助成事業含）**総額1億1841万6942円**となりました。その間

- ①支援活動助成（被災地支援・子ども支援・子育て世帯支援・医療従事者支援等）延べ98団体
- ②次世代育成事業（給付型奨学金）3人給付を行うことができました。

また、

- ③休眠預金を活用した「新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業」（公益財団法人熊本YMCAとのコンソーシアム）7団体活動助成・伴走支援
- ④熊本豪雨災害BRIDGEKUMAMOTO基金（一般社団法人BRIDGEKUMAMOTOとの共同事業）43団体への活動助成・4団体活動助成・伴走支援
- ③および④は引きつづき継続中です。

●2021年度は、「熊本の未来を担う子どもたち」を応援する事業に力を入れていくため、あらたに「くまもと次世代応援基金」を創設し、①Appleseed奨学金②次世代育成事業の充実を図っていきます。

【重点項目】

- ・支援団体・連携機関と連携による災害・クライシス・社会課題解決に向けた支援体制・プラットフォームづくり
- ・次世代応援基金の資源確保・次世代育成事業の充実
- ・地域課題解決に向けた組織基盤強化

3. 事業報告

（公益活動推進事業）

- (1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

◆事業名：おもやいアワード2022

【事業概要】熊本地震・コロナ感染・熊本豪雨災害によって、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方で自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】熊本の未来をみんなで支えよう

【実施日時】2021年12月18日（土）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑 多目的交流施設

【参加者】ご寄付いただいた方々・Appleseed奨学生・報道関係者 15名

【参加費】無料



今年はコロナ感染対応のため、「次世代育成応援事業「Appleseed奨学金」報告会」に変更
《流れ》

① 感謝状 寄付金贈呈式授与

●感謝状贈呈

一社) シアーズSC様

清水電気工業株式会社様

●2022年留学内定 石松さん へ奨学金贈呈



② Appleseed 奨学金について

・Appleseed 奨学金の状況

・協力団体 モンタナ州政府駐日代表事務所

・協力団体 公益社団法人日本国際生活体験協会（EIL）

・奨学生報告 2020 年 留学生 酒井さん



③ 次世代応援事業「こども未来の学校」 （2021年11月27日開催）

こどもトラストセミナー報告

を中心に開催しました。

（コロナ感染対策で関係者で開催）

全国でも高校生海外留学給付型奨学金を民間が出すのは珍しいそうです

石原専務理事が県の教育委員を務めた時に感じた

教育格差を何とかしたいと始めた「Appleseed奨学金」

財団としても手探りでやってきましたが

今回

寄付者と奨学生の交流、前年度留学生と次年度留学生の交流は初めての開催

●昨年の留学生「酒井さんの留学報告」

ご協力いただいている

●モンタナ州政府駐日代表事務所 坂口様からの熊本県との姉妹州「モンタナ」紹介



●公益社団法人日本国際生活体験協会（EIL）鈴木様から「高校生の留学」について説明

ご寄付いただきました企業様から

「こんないいことしているんだったら、これから継続して寄付するよ」うれしい申し出をいただきました。

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

◆事業名：新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業（6109万円）

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成・伴走支援

【実施期間】2020年10月～2021年10月

【対象】実行団体 7団体

- ・子どもの第3の場でいんぐる運営委員会（コンソーシアム：社会福祉法人玉医会・でいんぐる友の会）
事業名「子どもの第3の場でいんぐるwithコロナ」（玉名地域）
- ・熊本県子ども見守りネットワーク
（コンソーシアム熊本県ひとり親家庭福祉協議会・一般社団法人熊本県こども食堂ネットワーク）
事業名「熊本子ども見守りネットワークプロジェクト」（県内）
- ・認定NPO法人NEXTEP
事業名「荒廃耕作地の活用を通して若者の就労支援」（県内）
- ・株式会社きらり.コーポレーション
事業名「オンラインワーカー育成プロジェクト」（八代地域）
- ・NPO法人ワークショップひなたぼっこ
事業名「オンラインを活用した福祉事業活性化」（天草地域）
- ・NPO法人シンフォニ ことばの海 はぐくみの森
事業名「オンライン体制でリモート就労を」（県内）
- ・一般社団法人BRIDGEKUMAMOTO（コンソーシアム：合同会社といろ・株式会社調べ考房）
事業名「障害+サステナブルプロダクトの開発・販売」（県内）



(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

◆熊本豪雨災害BRIDGEKUMAMOTO基金第3次活動助成・団体サポート*連携事業

《採択団体》

(活動助成各団体40万×4団体=160万)

①チームやまびこ：活動地域：芦北町

事業名：コロナ禍の中ドライブシアター活動を中心とした芦北コミュニティづくり「心のよりどころとなるコミュニティの場・飲食店・地域住民の活躍の場づくり」

②やっちろ保健室協議委員会：活動地域：八代・坂本

事業名：やっちろ保健室~困ったときはお互い様！「坂本町・八代での高齢者の心と健康のケアを行う活動」

③多良木キッズサークル 活動地域：人吉

事業名：人吉でのすまいるサロン活動「心のケア・あそび・物資支援を通じた乳幼児やママの支援活動」

④リボーン 活動地域：坂本

事業名：惨事便乗型地域再生事業「被災で廃材となった資材を活用したコミュニティ拠点づくり・組織運営体制の整備」

●目的：

①熊本豪雨災害の各被災地（八代・坂本・芦北・人吉）で支援活動を行っている採択4団体が、今後も継続して活動を行っていけるように、団体運営に必要な基本的学びと実践ワークショップ、個別コンサルを通して、団体ごとの課題を解決していく力を身に付けていくこと。

②学んだことを実践しながら、各地域の復興支援のリーダーとして、他の団体との連携しながら復興支援活動を行っていく。

●助成期間：2021年4月～9月

●伴走サポート実施期間：5月～8月

●実施方法：基本的にはオンライン



【実施スケジュール】

	内容			日程
1. 戦略計画	①団体のミッション・ビジョンの明確化、ロジックモデル作成	オンライン	2	5月30日
	②ワークショップ	リアル	3	
個別サポ		オンライン	4 (各団体1)	6月20・21日

ート			時間)	
2.	参加者・協力者を増やすための資源(ヒト・モノ・カネ) 調達方法について	オンライン	2	6月27日
個別サポート		オンライン	4 (各団体1時間)	7月18・19日
3.	様々な広報ツールを活かしながら、参加・協力者を増やしていく。	オンライン	3	7月14日
4.まとめ	振り返り・交流	リアル	2	8月1日

◆**基盤強化セミナー**（コロナ感染状況を見て開催方法など判断）*連携事業

①**事務局力アップセミナー**（熊本市）

主催：熊本市市民活動センターあいぽーと

協力：一般財団法人くまもと未来創造基金

会場：熊本市市民活動支援センターあいぽーと

開催時期：7・8・9月



②**事務局力アップセミナー**（天草市）

主催：天草市市民活動センターあまみん

協力：一般財団法人くまもと未来創造基金

会場：天草市複合施設 こころす

開催時期：7・8・9月



開催日	項目	内容
7月	①NPO 事務局基礎・関係機関手続き	<p>①NPO 事務局基礎 NPO 法人の制度、法人運営業務の全体像、定款</p> <p>②会議の運営 ・総会、理事会の要件、招集・議事録作成の手続</p> <p>③所轄庁手続 ・情報開示事務、事業終了後手続、役員変更、定款変更手続</p>

		④法務局手続 ・登記の手続き、役員変更手続、登記事項証明書の読み方
8月	②「会計・税務」	①会計実務 ・NPO 法人会計基準、現金や通帳の管理、現金出納帳、勘定科目、仕訳、月締め、各種台帳 ②税務 ・法人の基本的な税、所得税の源泉徴収、その他の税
9月	③「労務」「寄付」	①労務管理 ・就業規則、雇用時の手続き、日々の手続き、退職時の手続、社会保険など。 ②寄付管理 ・寄附の必要性と概要、寄付金収入の扱い、名簿管理 寄付金受け取りの方法

③事務力検定（自主事業）*熊本市・天草市市民活動センターとの連携

主催：一般財団法人くまもと未来創造基金

天草市 10月20日（水）

熊本市 10月24日（日）

④助成金セミナー ①（自主事業）*助成団体の連携

【目的】

- ・団体が抱える課題の一つ「資金」について、助成金活用を希望する団体は多いが、自団体の計画に合わせて有効に活用している団体は少ない。
- ・助成制度について助成担当者による説明や助成金のしくみ・助成団体が助成金を出す目的などを聞くことにより、助成金への理解を深め、自団体に合った助成金申請へとつなげる。
- ・助成担当者の説明に加えて、熊本で実際に活動している団体の報告を聞くことで、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていく。
- ・開催に当たっては、事前に共催で開催する「助成金活用・企画書作成勉強会」と連携させる。

【日時】2021年9月23日（木）13:30～17:00

【会場】熊本市市民活動支援サポートセンター あいぽーと

【実施体制】主催：一般財団法人くまもと未来創造基金（企画・当日運営実施主体）

共催：熊本市市民活動支援センターあいぽーと

【協力助成団体・機関】

- ・くまもとわくわく基金（熊本市）
- ・九州 ろうきん（九州）
- ・一本の木財団（熊本県内）
- ・九電みらい財団（九州）



⑤深掘助成金活用セミナーin 熊本

*助成財団との連携事業

【目的】コロナ感染で影響を受けた「子ども」「障がい者」「福祉分野」の団体向けに助成金報告書から活用事例紹介や考察を聞くことにより、助成金の上手な活用法や事業の組み立て・申請書の書き方などを学び、申請へとつなげていく。

【日時】2021年10月7日(木)13:30~17:00 ※受付 13:00 17:00終了

【会場】熊本市市民活動支援サポートセンター あいぽーと

【実施体制】主催：一般財団法人くまもと未来創造基金（企画・当日運営実施主体）

協力：熊本市市民活動支援センターあいぽーと（会場・広報・集客）

協力団体：「福祉」「子ども」分野 独立行政法人福祉医療機構(WAM)(全国)

WAM 助成・子ども未来応援基金

活動発表団体：一般社団法人熊本県子ども食堂ネットワーク

NPO 法人トナリト



(4) 次世代育成事業

● 「くまもと次世代応援基金」

① 「くまもと次世代応援基金」

寄付キャンペーン

キャンペーンの実施

- ・財団の寄付サイト・寄付チラシにて
- ・目標金額 200 万円以上

【目的】子どもの未来を応援する人を増やす！

【事業内容】

① 給付型奨学金 170 万円

(1 人分の渡航諸費用・諸費用・事務手数料用)

② 次世代育成事業 30 万円

② 「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

* 連携事業



目的：高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与すること

《2021 年度募集スケジュール》

6月初旬 県内の高校50校に対し募集ポスター送付。

8月29日(日) 第一回説明会

9月15日(水) オンライン説明会

12月中旬 筆記試験

面接

【開催協力】モンタナ州政府駐日本代表事務所
公益社団法人日本国際生活体験協会(EIL)

③次世代育成事業 *連携事業

「未来に希望をもって生きるために、「未来を創るお金の学校」を開催する。
～MEのお金からWEのお金の使い方～

実施時期：11月27日

参加者：親子2組

開催方法：リアル

会場：熊本YMCA

協力：熊本YMCA コモンズ投信



(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】情報発信及び広報・普及啓発

【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP

メルマガ

FB等SNS

4. 理事会の開催

年4回開催(6月、10月、2月、5月)

6月-今年度事業計画・予算状況

10月-進捗状況

2月-進捗状況・次年度事業計画

5月-今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

コロナ感染対策のため

・ 2021 年 7 月郵送による書面決済